

愛鳥週間！身近な鳥を観察して eBird に投稿しよう

～スマホで参加する、市民科学プロジェクト～

(公財)日本野鳥の会(事務局:東京、会長:上田恵介、会員・サポーター数:約5万人)は、愛鳥週間(5月10(水)~16日(火))に、より多くの方に野鳥観察を楽しみ、世界規模の市民科学プロジェクト「eBird」に観察情報を寄せていただけるよう、キャンペーン「愛鳥週間！身近な鳥を観察して eBird に投稿しよう」を実施します。観察対象種を見た方、期間中毎日投稿した方には、記念品をプレゼントします(該当者多数の場合は抽選)。



■eBird について

eBird(イーバード)は、米国・コーネル大学鳥類学研究室(Cornell Lab of Ornithology)が運営する、世界最大の野鳥観察データベースであり、市民科学(市民と科学者が協働する科学研究)プロジェクトです。eBirdには世界中のバードウォッチャーから10億件を超える野鳥観察情報が寄せられ、蓄積されたデータは鳥類の調査研究や保全活動に活用されています。日本野鳥の会はコーネル大学鳥類学研究室と協働で、その日本語のポータルサイト「eBird Japan」を運営しています。

eBirdでは、自分のバードウォッチングの記録をPCやスマートフォンから投稿して、アーカイブできます。またさまざまな検索機能で、どこに行けば見たい鳥が見られるか、人気のバードウォッチングスポットはどこか等を調べることができます。eBirdを利用すれば、スマートフォンひとつが、フィールドノートにも、図鑑にも、探鳥地ガイドにもなります。

■5月10日~16日は愛鳥週間。身近で見られる鳥を eBird に投稿しよう！

5月10日~16日は愛鳥週間です。今年のキャンペーンのテーマは「身近な鳥」。特別な場所に行かなくても、家の庭や近くの公園、通勤・通学路などで見られる鳥を eBird に投稿してみましょう。観察対象種の身近な野鳥5種(スズメ、シジュウカラ、ヒヨドリ、アオサギ、カワセミ)をすべて見た方、7日間毎日投稿した方には、素敵なプレゼントも！また、身近な野鳥の見分け方を解説する講座(オンライン)や、野外で eBird の使い方を学ぶ講座も実施します。

【キャンペーン「愛鳥週間！身近な鳥を観察して eBird に投稿しよう」の概要】

- 期間:2023年5月10日(水)~16日(火) (愛鳥週間)
- 参加方法:期間中いつでも、好きな時間にバードウォッチングをして、見た鳥を「eBird Japan <https://ebird.org/japan/home>」またはアプリ「eBird モバイル」から投稿してください。
※eBirdに投稿するには、アカウントが必要です。

アカウント作成方法：https://ebird.org/japan/news/creating_account

※初めて使う方は「eBird/Merlin 設定と基本操作ガイド」をご覧ください。

eBird/Merlin 設定と基本操作ガイド：https://www.wbsj.org/nature/ebird/eBird_setting_guide.pdf

●投稿方法：スマホアプリ「eBird モバイル」または、eBird Japan ウェブサイトから投稿できます。

投稿方法は、以下をご覧ください。

eBird モバイルからの投稿方法：<https://ebird.org/japan/about/how-to-mobile>

eBird Japan ウェブサイトからの投稿方法：<https://ebird.org/japan/about/how-to-web>

●参加賞：期間中にチェックリストを投稿された方のうち

①サントリー特別賞 観察対象種（身近な野鳥5種：スズメ、シジュウカラ、ヒヨドリ、アオサギ、カワセミ）のすべてを見た方10人（該当者多数の場合は抽選）に、「サントリー特別賞」としてサントリーホールディングス株式会社提供の「育林材の時計（カワセミのデザイン）」をさしあげます。

●育林材について <https://www.suntory.co.jp/eco/forest/ikurinzai/>



サントリーホールディングス（株）提供
「育林材の時計（カワセミ）」 直径約16cm

<観察対象種 - 身近な野鳥5種>



②日本野鳥の会賞 7日間毎日チェックリストを投稿した方10人（該当者多数の場合は抽選）に、日本野鳥の会オリジナルグッズ「アホウドリの水筒」をさしあげます。

日本野鳥の会オリジナル
「アホウドリの水筒」



【講座(オンライン/対面)のご案内】

① オンライン講座「身近な野鳥を見分けて、eBirdに投稿しよう」

- 日時：2023年4月27日(木) 19:00-20:10
- 内容：身近な野鳥の識別ポイントを中心に解説し、家の庭や近くの公園で見た鳥をeBirdに投稿する方法をご紹介します。キャンペーンの観察対象種5種(スズメ、シジュウカラ、ヒヨドリ、アオサギ、カワセミ)のほか、身近な種について、見られる環境や、似ている種と見分けるポイントを解説します。
- 方法：Zoomウェビナー(定員400名)
- 講師：奴賀俊光(公益財団法人 日本野鳥の会)
- 参加費：無料
- 詳細・お申込みはこちら <https://www.wbsj.org/activity/event/seminar-ebird-20230427/>

② 対面講座「グローバル・ビッグ・デー！eBird野外体験講座」

- 日時：2023年5月13日(土) 10:00-12:00
- 会場：国立科学博物館附属自然教育園
- 内容：野鳥を観察し、その結果をモバイルアプリからeBirdに投稿するまでの手順を、フィールドで体験します。5月13日は、eBirdによる世界一斉野鳥カウント「グローバル・ビッグ・デー」。本講座に参加いただくことで、グローバル・ビッグ・デーにも参加できます。
- 定員：20名
- 講師：日本野鳥の会スタッフ
- 参加費：無料(ただし、自然教育園への入園料がかかります)
- 詳細・お申込みはこちら <https://www.wbsj.org/activity/event/seminar-ebird-20230513/>

■5月13日(土)は「グローバル・ビッグ・デー(世界一斉野鳥カウント)」

5月13日はコーネル大学鳥類学研究室が主催する世界一斉野鳥カウント「グローバル・ビッグ・デー(Global Big Day)」です。この日に投稿された観察記録は、リアルタイムでグローバル・ビッグ・デーのサイトから見るができます。



*Global Big Day <https://ebird.org/globalbigday>

■eBirdとは

●世界規模の市民科学プロジェクト

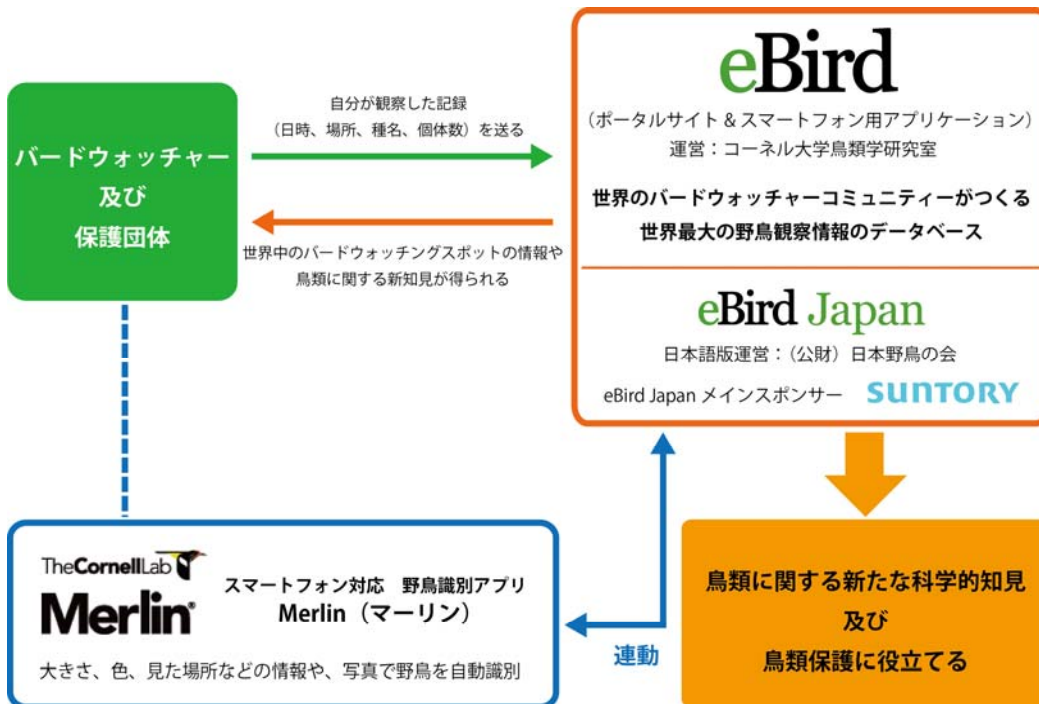
eBirdは、米国・コーネル大学鳥類学研究室が運営する、世界的な科学研究プロジェクトであり、誰でも参加できる市民科学プロジェクトです。世界中のバードウォッチャーの野鳥観察記録をオンラインで共有し、鳥類の研究や保護に役立てることを目的に、2002年に開発されました。2023年4月1日現在、eBirdの

利用者は 86 万人にのぼり、日々増え続けています。

●ポータルサイト eBird Japan 公開により、日本語で利用可能に

eBird は、コーネル大学鳥類学研究室と、世界中のパートナー団体、何千人もの地域の専門家、何十万ものユーザーの協働で運営されています。2021 年 11 月にコーネル大学鳥類学研究室と（公財）日本野鳥の会によりポータルサイト「eBird Japan」が公開され、eBird への投稿や検索、関連するアプリが日本語で利用できるようになりました。「eBird Japan」は、現在、サントリーホールディングス株式会社（メインスポンサー）と、カールツァイス株式会社（協賛）のご支援を得て、（公財）日本野鳥の会が運営しています。

eBird は多言語に対応しており、世界中で利用できます。また、eBird に蓄積されたデータは、調査研究や教育活動、自然保護活動など非営利目的であれば、誰でも自由に利用できます。



■日本野鳥の会 組織概要

組織名：公益財団法人 日本野鳥の会（会員・サポーター 約 5 万人）

代表者：理事長 遠藤孝一

所在地：〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

URL：https://www.wbsj.org/

■本件に関するお問い合わせ先

（公財）日本野鳥の会

〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

担当：自然保護室 葉山政治／岡本裕子

電話：03-5436-2633 E-mail：ebirdjapan@wbsj.org